

第14回がん患者大集会

2018年11月25日 東京医科歯科大学M&Dタワー

第14回 がん患者大集会アピール文

●厚生労働省へ

- (1)働きながらも安心して治療を継続出来る社会体制を望みます
- (2)ゲノム医療等の先進医療に早急な法整備を望みます。
- (3)地域包括システムを成熟させるために、患者・家族の患者力も活用する施策をお願いいたします
- (4)がん対策推進計画に掲げている患者団体等との協力において、具体的に、情報提供、活動助成などの経済的支援、活動場所の提供、講師派遣等を希望します。なお、地方行政にも同様の協力を希望します。
- (5)がん患者を対象とする支援制度について 40歳以上の患者さんには介護保険、20歳未満の患者さんには小児慢性特定疾患による支援制度がありますが、20歳から40歳未満の患者さんに対する法令に基づいた支援制度が現在はなく、ぜひ検討をお願いします。

●日本医師会へ

- (1)がん患者の状況に配慮した緩和ケアの充実を希望します。「苦痛のスクリーニング」を、がんの告知を受けた段階から実施して、療養場所問わず、必要な時に心身の苦痛が軽減され穏やかに生活ができることを望みます。
- (2)在宅医療の地域連携推進に加えて患者会・患者支援団体との連携を希望します。
- (3)がん拠点病院の相談支援センターにおいて、ピアサポート活動の推進を希望します。

●がん患者・家族の皆さんへ

あなたにも患者力があります。それぞれの体験を社会に活かす視点を大切に、地域でのがん啓発活動や、がん患者支援活動、がん教育の場面であなたの患者力を役立てましょう。そしてみんなで協力して医療行政に声を届けましょう。



「今、患者力に求められるもの」

【開催日時】2018年11月25日(日) 開場:9時半 開始:10時 終了:16時(予定)

【開催場所】東京会場:東京医科歯科大学 M&Dタワー2F 鈴木章夫記念講堂(東京都文京区湯島1-5-45)
サブ会場:各地がん患者サロン等のサテライト会場(依頼中)へ参加
(※インターネット放送・ソーシャルネットワークを利用した個人視聴(スマートフォン視聴可))

【内容】10:00-12:00 患者会の活動発表 12:50-13:00 のの字の歌体験
13:00-14:00 講演:川添忠生先生(日本対がん協会会長)
坂下千瑞子先生(東京医科歯科大学医学部附属病院・血液内科特任助教)
14:15-15:45 参加型シンポジウム:「皆で語る! 患者力!」
コーディネーター:澤洋幸先生(岐阜市民病院がん診療局長)
がん患者が自身の体験を基に自己の患者力を高め、それを家族、仲間にも共有し、分かち合い、さらには患者会として、広く社会へアピールする大きな患者力に高めたい。そのためにがん患者がどう活動していけばいいか、今一度皆で考えたいと思います。
16:00-16:00 患者会展示ブース

【参加対象】がん患者・体験者・家族・医療・福祉関係者・がん医療に関心のある方

【申込方法】裏面の必要事項をご記入の上、メール、FAX、郵送にてお申込下さい。
〒722-0022 広島県尾道市栗原町 5901-1 NPO 法人がん患者団体支援機構事務局
FAX : 0848-24-2423 Mail : info@canps.jp URL : http://www.canps.jp

参加
無料

【主催】特定非営利活動法人がん患者団体支援機構 第14回がん患者大集会実行委員会
東京医科歯科大学医学部附属病院 緩和センター

【共催】未来がん医療プロフェッショナル養成プラン

